・Peftmodelでのtask\_typeに生成系は文章以外無いので使えない

・trainerはそもそもmodelじゃないので使えない

・訓練時はメモリを食うので、生成するモデルのサイズは128から64に落としている(128にすると64の8倍食うと考えていいと思う)

・TPUは、エラーは吐かないが実行中にループに陥るので実質利用不可(ShapEの元のコードは対応しようとした形跡は見られるが、まやかし)

・学習率をいくらにしようが、(おそらくmlpを訓練対象にしていると)訓練が失敗することがある。projだけでも訓練はできるだろうから、mlpは訓練対象にしなくてもいい気がする

・ShapeNetは申請しないと使えないから、その申請はお早めに

・accelerateも無理

・rは4が最適だと思われる(詳しくはQLoRAの論文に書いているハズ)